

【小学校太陽光授業】 葵が丘小学校で授業させていただきました！

再生エネ仕組み 体感

葵が丘小で エンジン授業



太陽光パネルを設置する児童たち
＝浜松市中区の葵が丘小学校で

ガス販売の「エンジン」（浜松市中区）が二十一日、浜松市葵が丘小学校の五年生六十人に自然エネルギーの仕組みを知ってもらう出前授業を開いた。太陽光パネルを組み立て、その電力で家電製品を動かした。

エンジンは八年前から市内の小学校で出前授業を開いている。児童は社員の手ほどきを受けながら、屋根を横した枠組みに太陽光パネル四枚をねじで固定した。パネルの導線を家庭用の電力に変換する装置につなぎ、扇風機やCDラジカセを動かした。

パネルにブルーシートをかぶせると家電製品の動きが止まり、児童から驚きの声が上がった。谷高瑠那さん（こ）は「今まで太陽光パネルを見たことがなく、本当に扇風機が動いてびっくりした」と話した。
(高島碧)

エネルギー供給会社であるエンジンは、小学生に出前授業の一環で「太陽光授業」を実施しています。環境の変化がめまぐるしい中、エネルギーも時代と共に進化しています。

未来を担う小学生に環境問題に興味を持ち、自ら考えて行動してもらえたらと思います。

今後も地域に住む子ども達と一緒に未来を創造していきます。

令和3年(2021年)10月23日(土)

中日新聞掲載

